



がんばつとるよ！

井笠の農業

①	⑤
②	⑥
③	⑦
④	⑧

表紙写真の説明

- ①大麦（矢掛町）
- ②ぶどうの収穫調査（井原市）
- ③ミツバチによるいちごの受粉（井原市）
- ④たまねぎの病気に対する農薬の効果確認（全域）
- ⑤ぶどうの着色経過を撮影中（矢掛町）
- ⑥たまねぎ栽培研修会（笠岡市）
- ⑦ぶどうの講習会（井原市）
- ⑧収穫間近なたまねぎほ場（笠岡市）



～ 目 次 ～

ぶどう新規栽培者の技術向上とピオーネの着色向上を目指して・・・・・・・・・・	1～2
就農希望者、集まれ！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
認定農業者の経営改善を支援しています・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
鶏ふん＋ドローン追肥による水稻の省力・低コスト栽培！・・・・・・・・・・	4
SNS を活用して販売力を向上！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
井笠地域いちご研究会で研修会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
井笠版たまねぎ防除暦を普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
アスパラガスの病虫害被害を減らす！タイムリーな情報発信・・・・・・・・・・	6
各種光源を利用したばらの収量増加への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
カラス撃退レーザーで牛を守っています・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
よろしくお願いします～新規就農者の紹介～・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7～8
おめでとうございます～受賞のお知らせ～・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9～10

ぶどう新規栽培者の技術向上とピオーネの着色向上を目指して

○新規栽培者同志、切磋琢磨しています！

普及指導センターは、就農5年以内の新規栽培者25人を重点指導対象に位置づけ、栽培技術の向上や早期経営安定、仲間づくりを目的とした、研修会や講習会、巡回指導を実施しました。研修会では、土づくり研修、先進地視察（新見市と赤磐市）、アプリを活用した雇用活用研修を実施しました。土づくり研修では、「土壌診断を基に、ほ場にあった土づくりを考えるヒントを得た」と特に好評でした。

また、新規栽培者は日頃の成果を知りたいと品評会に積極的に出品し、複数人が上位入賞するなど、着実に栽培技術が向上しています。そして、本年の新たな取組により、連絡先を交換するなど市町を超えて仲間の輪が広がりました。



土づくり研修でのグループワーク



土壌診断結果を基に地域巡回指導



新規栽培者対象合同講習会（笠岡市、矢掛町）



新規栽培者の品評会受賞房
（ピオーネ、井原市）

○ピオーネの着色向上を目指して実証を行いました

JA 晴れの国岡山笠岡ぶどう専門委員会と矢掛ぶどう部会で、新たな植物成長調整剤であるアブサップ®液剤の処理がピオーネの着色に及ぼす影響について実証しました。

○結果

- ・処理によりカラーチャート値で 1～2 程度着色が向上しました。
- ・果粒重や糖度等の品質に違いは見られませんでした。

○使用方法

- ・アブサップ®液剤 100 倍液を 1 果房当たり 5 ml を目安に、ホルモン剤用の蓄圧式噴霧機（下写真）を用いて着色始期に果房散布しました。

○注意事項

- ・散布方法や生育条件等により着色向上効果に差が見られ、さらに散布の際に薬液が果粒に付き過ぎると果面の汚れや果粉溶脱が発生するおそれがあるので、使用時期や濃度、液量に十分注意する必要があります。
- ・実際の使用場面では散布作業に加え、果実袋を外す等の作業があり、労働時間が増加しますが、ピオーネの着色向上を目指して、両部会では今後の部分的導入について検討する予定です。

収穫時の果実品質

地域 (調査日)	処理の方法	果皮色※	果粒重 (g)	糖度 (Brix%)
笠岡市 (9月3日)	アブサップ区	6.7	20.4	19.3
	無処理区	5.7	19.4	19.6
矢掛町 (8月28日)	アブサップ区	6.4	16.3	19.5
	無処理区	4.3	15.6	19.5

※果皮色はカラーチャート値で示し、数値が大きいほど果皮色が黒い



使用した噴霧機
(株)フルプラ製
ホルモン散布用噴霧器
No.7010)



収穫果実（上段：アブサップ区、下段：無処理区、左：笠岡市、右：矢掛町）

就農希望者、集まれ！

井原市（ぶどう）と矢掛町（ぶどう、アスパラガス）では、生産組織と関係機関が連携して新規就農希望者の受入体制を整備し、新規就農者の確保に取り組んでいます。

県内外での就農相談会を通じた新規就農研修生の募集により、就農オリエンテーション等で4組5人の現地訪問を受け入れました。現在、井原市で3人がぶどうで農業実務研修に取り組んでおり、令和8年に就農する予定です。

全国規模で行われる就農相談会（「新・農業人フェア（大阪）」）に昨年度から井原市ぶどう部会の生産者も参加し、積極的に産地PRをしています。昨年度と比べ、就農相談者数が県全体でも減っていますが、生産現場の生の声を届けることができたおかげで、相談者を産地訪問にまで結びつけることができました。来年度以降もこの取り組みを続け、産地の生の声を届けていき、担い手確保に繋げていきたいと思っています。



就農オリエンテーションでの説明



新・農業人フェア（大阪）での就農相談風景

認定農業者の経営改善を支援しています

倉敷・井笠地域の認定農業者や新規就農者を対象に労務管理や税務、簿記に関する「ステップアップ研修会」を8月から1月にかけて5回開催しました。

参加者からは「今まで詳しく分かっていなかったが、とても分かりやすかった。今後に活かしたい。」との感想がありました。

普及指導センターでは、農業者の方々の経営上の課題解決に向け、岡山県農業経営・就農支援センターに登録されている専門家を活用した相談会も行っています。専門家への相談希望がある方はお知らせください。



税務研修会で熱心にメモをとる参加者



専門家への個別相談

鶏ふん+ドローン追肥による水稻の省力・低コスト栽培！

昨今、化学肥料の価格が急騰しており、水稻栽培では安価な鶏ふんや単肥を利用した低コスト施肥への関心が高まっています。また、農業従事者の減少や高齢化対策として、スマート農機の活用による省力化が必要となっています。そこで、普及指導センターでは基肥に鶏ふんと硫酸、追肥にドローン専用尿素を組み合わせた体系での栽培実証を行いました。

その結果、実証区は従来の一発型肥料（慣行区）と同等以上の収量が得られ、かつ肥料代を反当り約 5,600 円削減することができました。ドローンでの追肥作業はバッテリー交換、肥料の補充を含め、約 30a のほ場を 25 分で完了しました。

鶏ふんは散布労力や機械、ドローンは導入コスト等の課題はありますが、省力・低コスト栽培に向けて活用を検討してみたいはいかがでしょうか。

各区の収量と肥料代の比較

	実証区	慣行区
実収量 (10a当り)	528kg	504kg
肥料代試算 (10a当り)	5,380円	10,986円

※品種ヒノヒカリ

N 施肥量(10a 当)実証区 11.8kg

慣行区 8.5kg



ドローン追肥の様子

SNS を活用して販売力を向上！

6次産業化等に取り組む農林漁業者を対象に「倉敷・井笠地域6次産業化事業者向け SNS 研修会～無料で出来ちゃう販売力 UP～」(全2回)を開催し、延べ 23 名(倉敷 3 名、井笠 20 名)が受講しました。

専門家から SNS の基礎やプレスリリース、Google マップの活用方法を学び、SNS を活用した販促方法について理解を深めました。受講生の中には、新たな SNS を開設して販売を始めた事業者や、SNS への投稿内容を充実させた事業者もあり、学んだことを活かした販売活動が行われています。



SNS の基礎を学ぶ受講者



事業者が開設した SNS ページ

井笠地域いちご研究会で研修会を開催

井笠地域いちご研究会は、令和5年6月に発足し、いちごの安定生産と会員同士の情報交換を目的として、年2回研修会を開催しています。

12月に今年度2回目となる研修会を井原市の会員ハウスで開催し、普及指導センターからは、今までのいちごの作柄と厳寒期の管理ポイントを情報提供しました。また、ハウスの加温方法について、講師が現地で加温機やハウスを見ながら説明したところ、参加者は積極的に質問を行い、情報収集をしていました。会員ハウスでは環境測定装置やLED電照などの新技術を視察するとともに、栽培管理等の意見交換を行い、参加者は興味深く施設やいちごの生育を確認していました。

普及指導センターでは、栽培技術向上のための研修会の開催や適期の情報提供を通じて、品質の良いいちごを安定的に出荷できるよう支援していきます。



加温機の説明を聞き取り



普及指導センターからの情報提供

井笠版たまねぎ防除暦を普及

近年、井笠地域ではべと病、葉枯病が多発し、収量が減少する問題がありました。そこで、井笠地域のたまねぎ生産者の防除履歴等を取りまとめ、佐賀県とべと病対策の意見交換をし、現行防除体系の課題を確認しました。また、葉枯病菌に対する農薬の影響も調査しました。これらの情報をもとに関係機関と協議し、防除暦を作成しました。

9月に井笠地域の加工・業務用野菜生産グループを対象に研修会を開催し、防除暦に入っている薬剤や散布時期を説明し、各経営体で暦に沿った薬剤散布を実施してもらっています。病気の発生を抑えられるよう、今後も防除の呼びかけを続け、たまねぎ生産活動を支援していきます。



研修会の様子

散布時期	登録剤名※1	FRACコード	登録剤名※2	FRACコード	登録剤名※3	FRACコード
9-10月 秋蒔き後	オーソサイド水剤800	M04				
	Zボルドー	M01	アゼイオン液剤	SA		
10月 秋蒔き後	バリダン液剤5	U13				
	カスリンセム液剤	ZA.M09				
11月 冬蒔き後	ジェストフェックスロアブル	43.40				
	ネロシデスワルトSC	49.40			フィールドスターP乳剤	15
12月	シグナムWDG	11.7			ボクサー	15
					(イネ科病害があれば、※4 ※5と併用を要す)	(1)
1月	Zボルドー	M01			クロロPC	23
2月					グラメックス水剤※5	5
	アロキサIDSC※1	29				
	ピロキタフロアブル	U17				
	アロキサIDSC※2	29			ボクサー	15
3月					バサダン液剤	6
	ジマンダイセン水剤※1	M03	ジェイユース水剤※1	1B	(イネ科病害があれば、※4 ※5と併用を要す)	(1)
	ジマンダイセン水剤※2	M03			ゴーサン液剤	3
4月	ジマンダイセン水剤※3	M03	ディナSC	5	(イネ科病害があれば、 ※5と併用を要す)	(1)
	ジマンダイセン水剤※4	M03				
	ジマンダイセン水剤※5	M03	クレーン液剤	30		
5月	ダコニール1000	M09				
	ネタリタシアン液剤	Z.M01				
6月	オンリーワンフロアブル	3				

井笠版たまねぎ防除暦（一部抜粋）

アスパラガスの病害虫被害を減らす！タイムリーな情報発信

矢掛町の特産品であるアスパラガスの病害虫の早期発見、早期防除のために、普及指導センターでは、被害が発生しはじめる5月下旬から10月まで毎月1～2回定点調査（3か所）を実施し、発生状況についてまとめた「アスパラガス病害虫情報」を提供しています。情報は、部会員にタイムリーに行き渡るよう、部会のLINEグループ及びJA選果場掲示板に掲示しています。

今年度は、高温・乾燥した気象から、害虫の発生が例年より多く、部会員からは、病害虫の写真付きの情報を見て、ほ場の見回りを行った、薬剤を選ぶ参考に活用したと好評でした。今後もアスパラガスの収量・品質向上に向け、支援していきます。

アスパラガス病害虫情報第6報

令和6年8月28日
井笠農業普及指導センター
JA 穂 穂 の 産 地 山
矢 掛 アグリセンター

台風後の栽培管理と防除を徹底しましょう

1 台風通過後の栽培管理
台風通過後は、以下の対策を行ってください。
・停滯水を早急に排水するとともに、支柱の補修を行い、誘引する。
・降雨による肥料の流しが考えられる場合は、速効性の肥料を追肥する。
・根や株元が露出していたら、土寄せを行う。

2 病害虫防除
定点調査の結果（8月21日、23日）、茎枯病の発生が増えており、褐斑病（写真1）も発生し始めていました。台風による発病の拡大が懸念されます。台風後の防除を徹底してください。

また、アザミウマ類、ハスモンヨトウ（写真2）、ヨトウムシ類、ハダニ類の発生も増えています。特にハダニ類の多発ほ場では、葉裏の黄化が見られ、若茎にもハダニ類が見られました（写真3）。病害と併せて防除してください。

項目	茎枯病発生率（%） （調査12m×2か所）		アザミウマ類発生率（%） （調査12m×2か所）		ハスモンヨトウ発生率（%） （調査12m×2か所）		ヨトウムシ発生率（%） （調査12m×2か所）		ハダニ発生率（%） （調査12m×2か所）	
調査日	7/31-8/1	8/21-8/23	7/31-8/1	8/21-8/23	7/31-8/1	8/21-8/23	7/31-8/1	8/21-8/23	7/31-8/1	8/21-8/23
A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



（写真1）褐斑病
※病斑に白いフラスコ状のものが発生します



（写真2）ハスモンヨトウとその被害
※葉裏を食害された茎は白っぽくなります



（写真3）ハダニ類
（若い株）と根付機

お問い合わせ先
井笠農業普及指導センター
JA 穂 穂 の 産 地 山
矢 掛 アグリセンター

TEL 0865-69-1653
TEL 0866-82-0123

アスパラガス病害虫情報

各種光源を利用したばらの収量増加への取り組み

笠岡湾干拓地では、県内を代表する大規模なばら栽培が行われています。

以前より、寡日照時の切り花本数確保等のために、高圧ナトリウムランプによる補光を取り入れていましたが、近年、高圧ナトリウムランプよりも省エネルギーとなる高輝度LEDライトでの補光の取り組みが2経営体で開始されました。高輝度LEDによる有意な増収効果は認められますが、現在使用しているLEDライトは導入コストが非常に高いため、費用対効果が十分に得られる品種の選定が重要となっています。

また、令和6年春より、うどんこ病抑制のためにUV-Bライトの導入も行っています。うどんこ病への効果は確認されましたが、切り上げ方式の場合、時期によりライトと生長部分との距離が変化するため、葉焼けの発生を軽減するための照射時間等の検討が必要と考えられます。



高輝度LEDの設置状況



UV-Bライトの設置状況

カラス撃退レーザーで牛を守っています

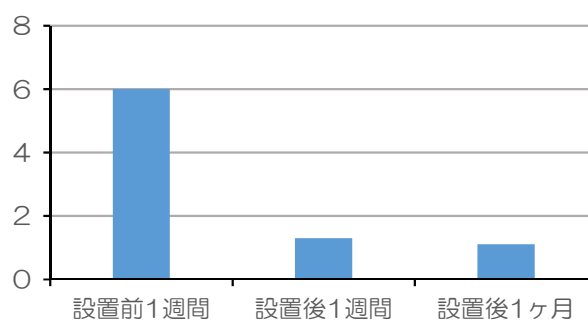
畜産経営においてカラスによる飼料の盗食や家畜への病気の伝搬、傷害による損失は大きく、カラス対策に注目が集まっています。これまで防鳥ネットやテグス、大音量の音声で驚かせるもの、光の反射など様々な対策が取られてきましたが、いずれもカラスの慣れにより効果が薄れるとされています。今回の実証農場においても様々な対策を試みたものの、結局カラスは戻ってきてしまいました。

農場では現状を打開すべく、カラスが嫌がる緑色ビームをランダムに発光する最新のカラス撃退レーザーを導入し、継続的な忌避効果があるか現在検証を行っています。実際牛舎内にレーザーを設置後、カラスの羽数は減少傾向にあります。今後も効果が持続するのか、調査を続けます。



設置したレーザー

(羽/回)



牛舎内で確認されたカラスの羽数(9:00~15:00)

各専門項目のお問い合わせ先

○作物、果樹、野菜、担い手に関すること
井笠農業普及指導センター

TEL(0865)69-1652・1653・1655

○経営、花き、6次産業化に関すること
備南広域農業普及指導センター

TEL(086)434-7047

○畜産に関すること
農畜産物生産課畜産第一班

TEL(086)434-7033

岡山県備中県民局農林水産事業部

井笠農業普及指導センター

〒714-8502 岡山県笠岡市六番町2-5
担い手・農産班 TEL(0865)69-1652
園芸班 TEL(0865)69-1653
TEL(0865)69-1655
FAX(0865)63-6345

HP [https://www.pref.okayama.jp/soshiki/101/](https://www.pref.okayama.jp/soshiki/101/ikasa-fukyu@pref.okayama.lg.jp)
e-mail ikasa-fukyu@pref.okayama.lg.jp

ホームページ

井笠普及

検索